

水防新工法【少人数で実施可能な堤防漏水抑制技術】

はじめに

水防は、水防団体、行政機関、地域住民等が一体となって洪水の被害の軽減、未然防止をはかるものです。過去の洪水の際、水防活動により堤防の決壊を免れた例は数多く、水防は非常に重要な役割を担っています。

一方で、下表のとおり、水防団体の構成員は年々減少し、高齢化も進んでいます。このような水防体制の弱体化を改善するためには、水防技術の簡易化・機械化等により、技術面での対応能力を向上させる必要があります。

以上のような背景から、省力化水防技術を新たに開発しました。

水防団員数の推移(平成22年版水防のしおり)

昭和46年	昭和63年	平成11年	平成21年
1,224,403人	1,024,009人	973,886人	897,287人

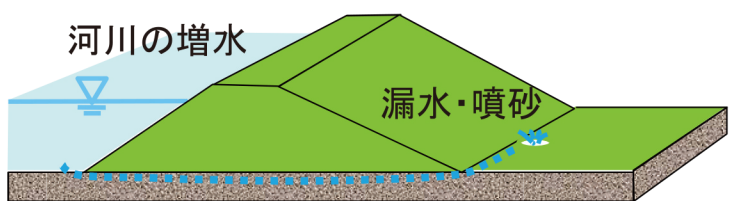


水防団の活動(H20女沼川(利根川支川))

【水防団】
主に地域の住民により構成
指揮・監督は水防管理者(市町村の首長)

新しい堤防漏水抑制技術の特長

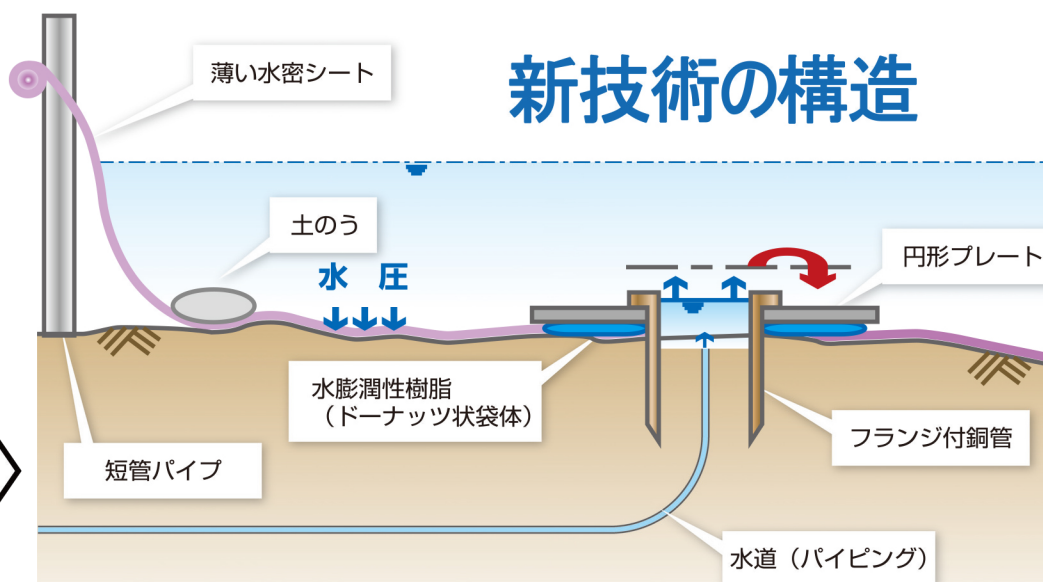
特許出願中 特願2009-189501
特願2009-189647
特願2009-190637



従来工法の原理を利用して開発

従来工法の一つ【月の輪工法】
25名で1時間程度かけて設置

漏水口の周囲に土のうを積み、貯水して堤防漏水・噴砂による堤防損傷を抑制する水防技術



- 【特長1】フランジ付銅管を打ち込んでパイピング孔の拡大を防止
- 【特長2】膨潤性のドーナツ状袋体等により水漏れ防止
- 【特長3】堤防漏水が重りとして作用し、柔軟性のある水密シートと地盤が密着

省力化

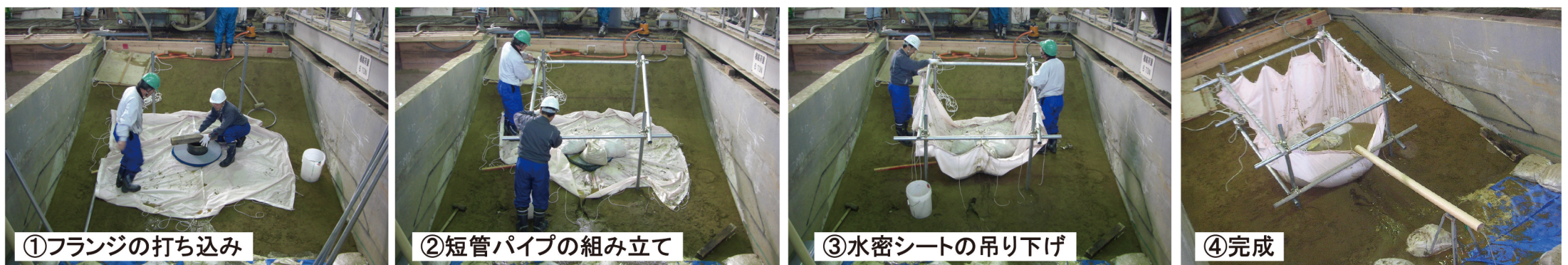
水防団員2名、20分程度で実施可能

軽量化

巡視車両等に資材を搭載可能。速やかな初期対応

エコ

再利用可能(一部除く)



新しい堤防漏水抑制技術の試験実施状況

お問い合わせ

国立研究開発法人 土木研究所
地質・地盤研究グループ(土質・振動)

Tel. 029-879-6771, doshitsu@pwri.go.jp

<http://www.pwri.go.jp/>



芦森工業株式会社
パルテムカンパニー パルテム営業部
Tel. 03-3246-0301